

< 第 18 節終了時点順位表 >

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒 澤 大 学	11	3	4	44	15	+29	37
2	法 政 大 学	10	3	5	34	22	+12	35
3	筑 波 大 学	8	4	6	44	24	+20	30
4	国 土 館 大 学	8	4	6	24	21	+3	30
5	東 京 農 業 大 学	6	6	6	17	26	-9	24
6	順 天 堂 大 学	6	7	5	30	29	+1	23
7	中 央 大 学	6	8	4	30	33	-3	22
8	明 治 大 学	5	7	6	21	25	-4	21
9	流 通 経 済 大 学	5	7	6	18	27	-9	21
10	東 京 学 芸 大 学	6	10	2	26	33	-7	20
11	垂 細 垂 大 学	5	8	5	15	26	-11	20
12	日 本 大 学	2	11	5	19	41	-22	11

国土館大学はリーグ戦後に勝ち点 - 7 とする

得点ランキング

- 10 ゴール 市川雅彦(法 大)
- 9 ゴール 赤嶺真吾(駒 大)
- 原 一樹(駒 大)
- 宮崎大志郎(駒 大)
- 8 ゴール 井上 平(法 大)
- 他 2 名

アシストランキング

- 12 アシスト 藤本淳吾(筑波大)
- 6 アシスト 石川高大(東農大)
- 5 アシスト 赤嶺真吾(駒 大)
- 巻 佑樹(駒 大)
- 島田祐輝(駒 大)
- 高野耕平(東学大)
- 他 2 名



引き分けという結果にがっかりと肩を落とす駒大イレブン。次節までの3週間でもどこまで強化できるかによって優勝の行方が左右される



右サイドで守備に徹した阿部。攻撃では「全ての精度を上げなければ」と語った

6 試合振りに先発出場した菊地。自慢の高さで国土大のロングボールを跳ね返し続けた

左サイドからチャンスを作った宮崎。「ゴール前ではもっと積極的になれば」と振り返った



10月22日 14:10 栃木グリーンスタジアム

駒大 0 (0 - 0) 0 国土大
(1位・37) (4位・30)

得点者(アシスト)

KOMAZAWA	KOKUSHIKAN
GK 牧野利昭(4)	GK ²² 山下高明(3)
DF 阿部琢久哉(3)	DF 杉森陽介(3)
DF 廣井友信(3)	DF 山崎祐輔(3)
DF 桑原 靖(4)	DF 佐藤直貴(3)
DF 筑城和人(3)	MF 宗像耕史(3)
MF ¹³ 菊地光将(2)	MF 柴崎晃誠(3)
MF ²⁵ 田谷高浩(2)	MF 沼野成吉(2)
(65分 巻 佑樹(3))	MF 片山奨典(4)
MF 宮崎大志郎(4)	MF ²³ 半田武嗣(2)
(74分 ³³ 島田祐輝(1))	FW 加藤浩史(4)
MF 鈴木亮平(4)	(57分 小比賀慎(4))
FW 赤嶺真吾(4)	FW 金子史朋(3)
FW 原 一樹(3)	(70分 ³⁵ 島袋貴男(3))

S U B	S U B
GK ²¹ 三栗寛士(3)	GK ³⁰ 金子 進(3)
DF 塚本泰史(2)	DF ²⁴ 足助 翔(2)
MF 八角剛史(2)	MF 斉藤雄大(1)
MF ²⁸ 笹岡新伍(4)	MF 土屋高啓(4)
FW ²⁴ 印出昌史(4)	MF 養父雄仁(3)

MANAGER 秋田浩一

MANAGER 佐藤 孝

警告(C) / 退場(S)

【駒】19分: 菊地光将(C)

[シュート]5:7[GK]9:12[CK]5:3[PK]0:0[直接FK]12:21

[間接FK]17:2[OS]6:2[主審]斉藤敏一[観衆]約120人

上記データは全て左側の数字が駒澤

基本フォーメーション



4選手が東アジアに挑戦！！



ユニバでは途中出場が多かった原。次はスタメン獲得に燃える

夏にユニバーシアード・イズミル大会で世界を制した日本ユニバーシアード代表。ユニバに続いて次はアジアを制するために東アジア競技大会(マカオ)に参加する。駒大からは赤嶺、原、巻、廣井の4選手が再度招集された。

駒大勢はユニバでは出場回数が少なかったが原は「選ばれた限りは頑張りたい。ユニバでは途中から出ることが多かったので、出られたら点をとってチームに貢献したい」と意気込みを語り、「ユニバではレギュラーを取れなかったので試合に出られるように頑張りたい」と廣井は話した。

サッカー男子日本代表対戦スケジュール

10月29日 14:30~	対チャイニーズタイペイ
11月2日 20:00~	対韓国代表
11月5日 16:00~	グループB1位対グループA2位
19:00~	グループA1位対グループB2位
11月6日 14:00~	3位決定戦
17:00~	決勝戦



「出場するからには頂点を目指す」と大会への意気込みを語った赤嶺。ユニバ以上のゴールを奪えることを期待。写真はユニバーシアード・イズミルでの一枚(撮影:野沢俊介)